

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第1週(12月31日~1月6日)

平成20年1月11日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

2008年1月1日から麻疹と風しんが、それぞれ全数把握疾患に変更されました。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> (2012年麻疹排除に向けて)

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

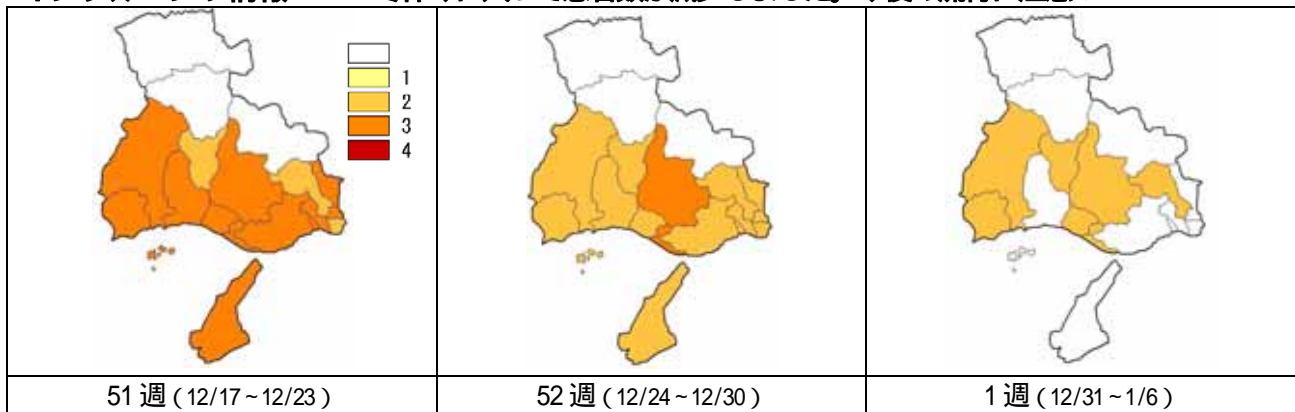
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

インフルエンザ情報

冬休みに入って患者数が減少しました。今後の流行に注意!

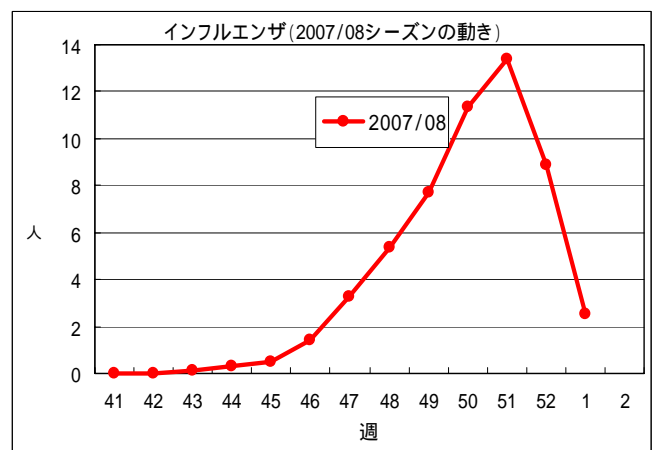
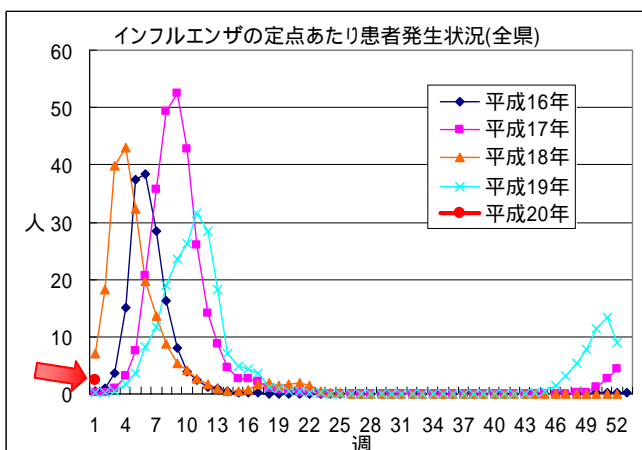


全国のインフルエンザの定点あたり患者数は第42週以降継続して増加していましたが、冬休みに入った影響で、3.14人(先週6.12人)と2週連続で減少しました。北海道、青森県、宮城県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県が警報レベル、その他7都道府県(兵庫県含む)が注意報レベルとなっています(第52週現在)。全国的にみて、現在のインフルエンザ流行の原因ウイルスはAH1亜型(Aソ連型)が大半を占めているようです。

今週県内の定点からは患者数508人(先週1,751人)、定点あたり患者数2.55人(同8.89人)の報告がありました。今週は先週に引き続き、冬休みの影響により減少しましたが、今後帰省等の影響による流行地域の拡大が心配されます。

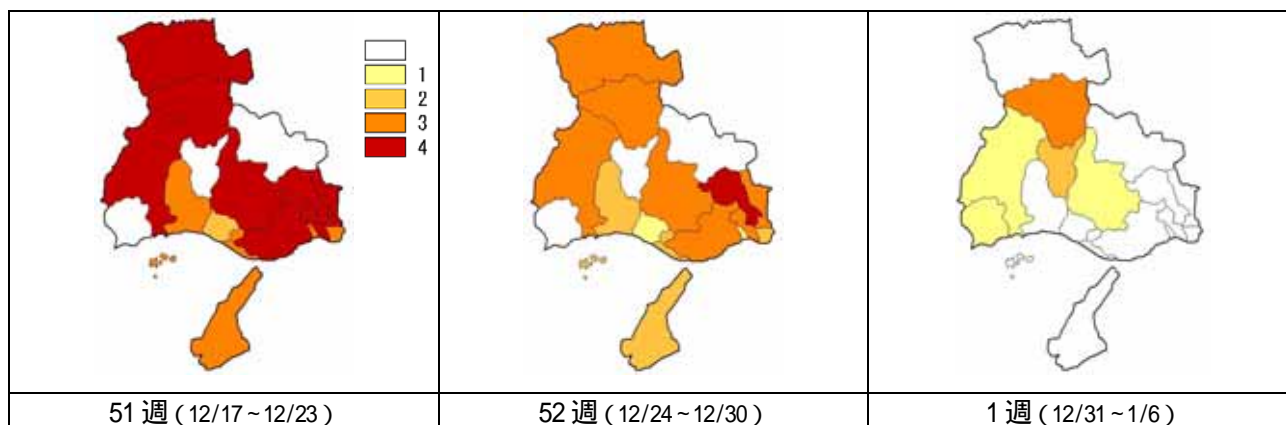
インフルエンザ予防には、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などが大切です。厚生労働省のホームページにて「インフルエンザQ&A」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/07qa.html> (厚生労働省)



感染性胃腸炎

冬休みに入って患者数が減少しました。でもまだまだ流行は続きます。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週大幅に減少しました。例年、年末年始に一時患者数が減少しますが、3月頃までは患者数の多い状態が継続するので今後も注意が必要です。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用するなど注意が必要です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

今週は冬休みの影響もあり、多くの感染症で定点あたり患者数が減少しました。**水痘**の定点あたり患者数は今週減少しましたが、冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻疹に次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれ、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**RSウイルス感染症**は3週連続で減少しましたが、冬季に流行をみせる感染症ですので、もうしばらく患者数の多い時期が続くと予想されます。**流行性耳下腺炎**は例年より低い傾向での推移が継続しています。**百日咳**の報告が2名あり、ともに20歳以上でした。成人の百日咳は、咳が長く続くものの症状が比較的軽微なため見逃されやすく、周囲へ感染を拡大してしまうこともあり注意が必要です。

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	4.05	12.66	- 8.61	6位	A群溶血性球菌咽頭炎	0.29	0.82	- 0.53
2位	インフルエンザ	2.55	8.89	- 6.34	7位	突発性発しん	0.15	0.59	- 0.44
3位	水痘	1.27	1.89	- 0.62	8位	流行性耳下腺炎	0.13	0.39	- 0.26
4位	RSウイルス感染症	0.65	1.45	- 0.80	9位	咽頭結膜熱	0.06	0.21	- 0.15
5位	流行性角結膜炎	0.37	0.34	+0.03	10位	手足口病	0.04	0.09	- 0.05

全数把握感染症

1類感染症：報告はありません。

2類感染症：**結核 6名**（尼崎市2名、姫路市1名、西宮市1名、宝塚健康福祉事務所管内2名）

3類感染症：**細菌性赤痢 1名**（西宮市：海外渡航者）

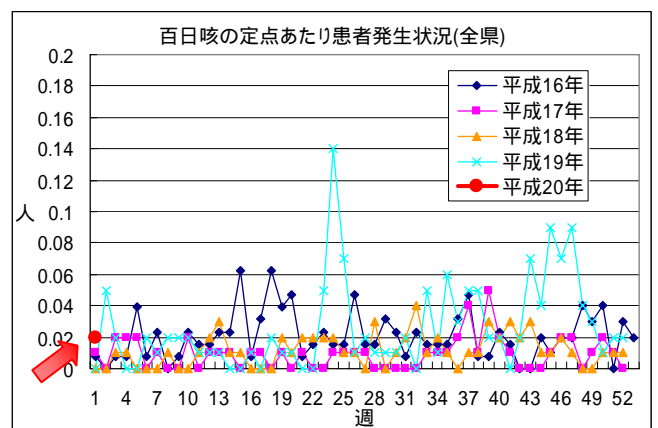
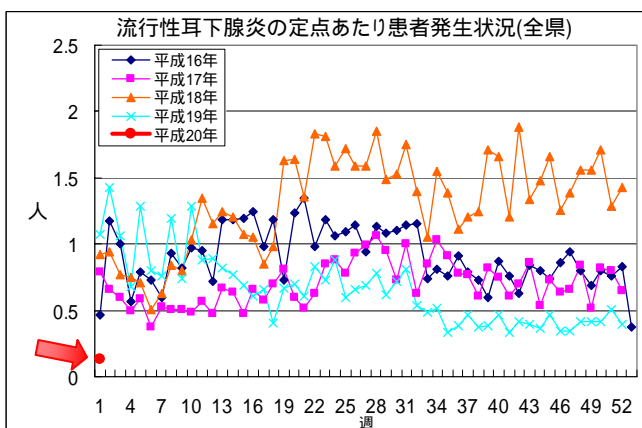
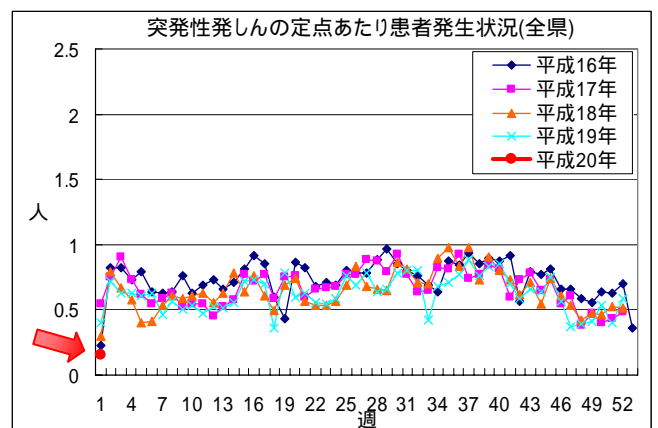
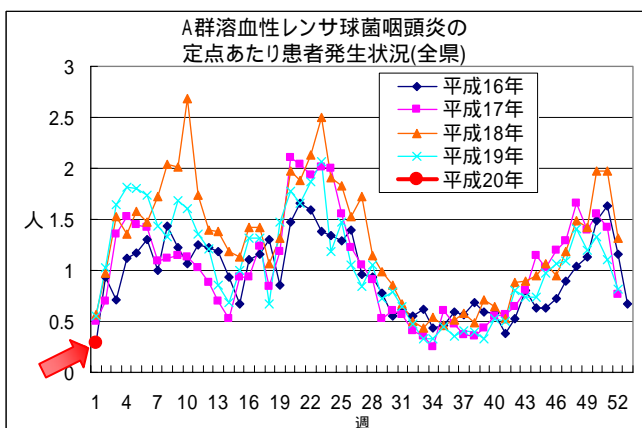
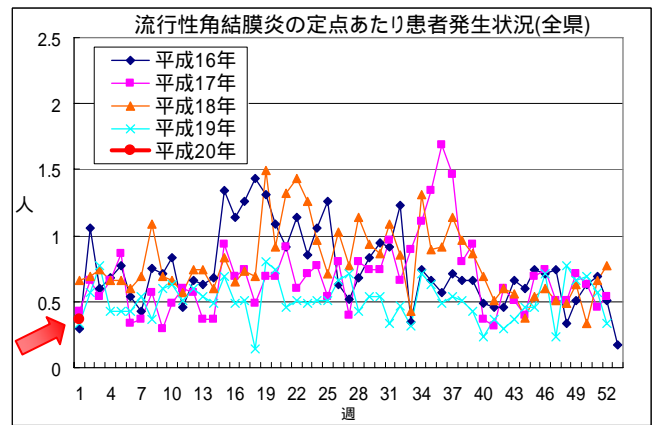
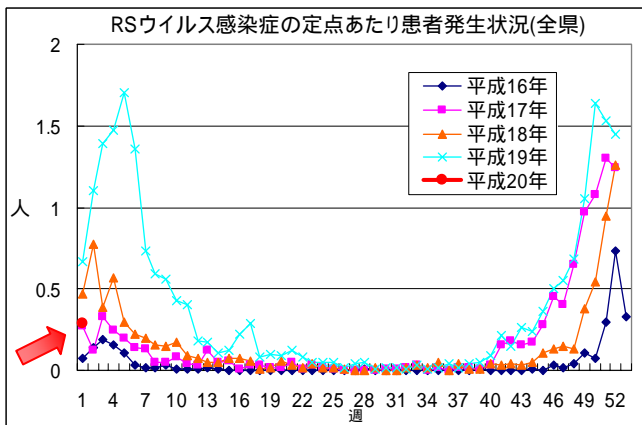
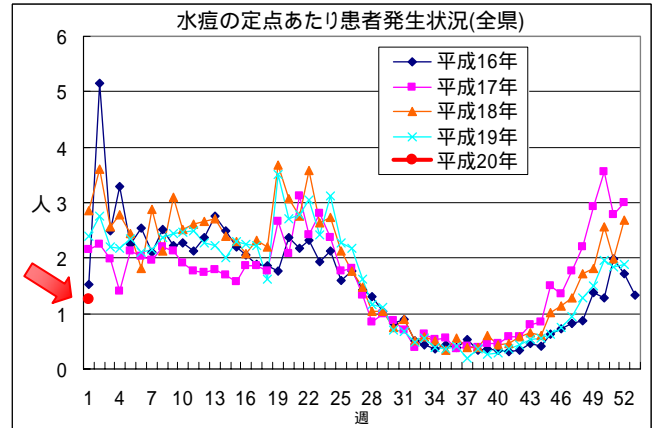
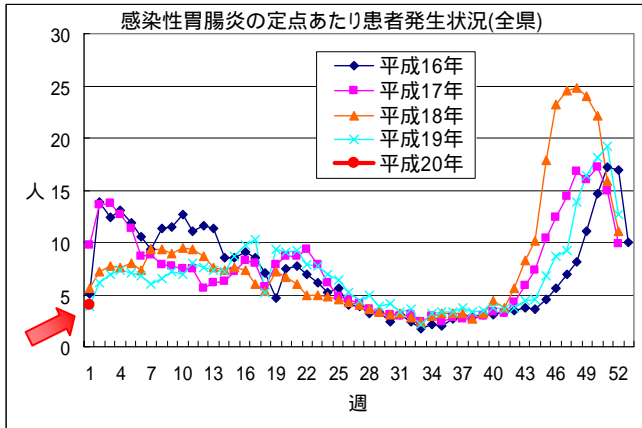
4類感染症：報告はありません。

5類感染症：**麻疹 4名**（神戸市・0歳,2歳,14歳,18歳・ともにワクチン接種歴無・うち2名は家族内感染）

追加報告：**結核 8名**（尼崎市4名；第52週、姫路市3名；第50週、第52週、明石健康福祉事務所管内1名；第49週）

レジオネラ症 1名（柏原健康福祉事務所管内；第52週）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.gov/jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。